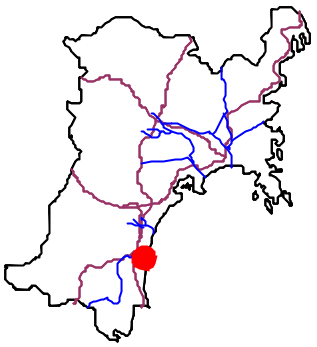
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	阿武隈川下流　押分地区堤防質的整備（直轄） （宮城県岩沼市）

事業着手：平成１７年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

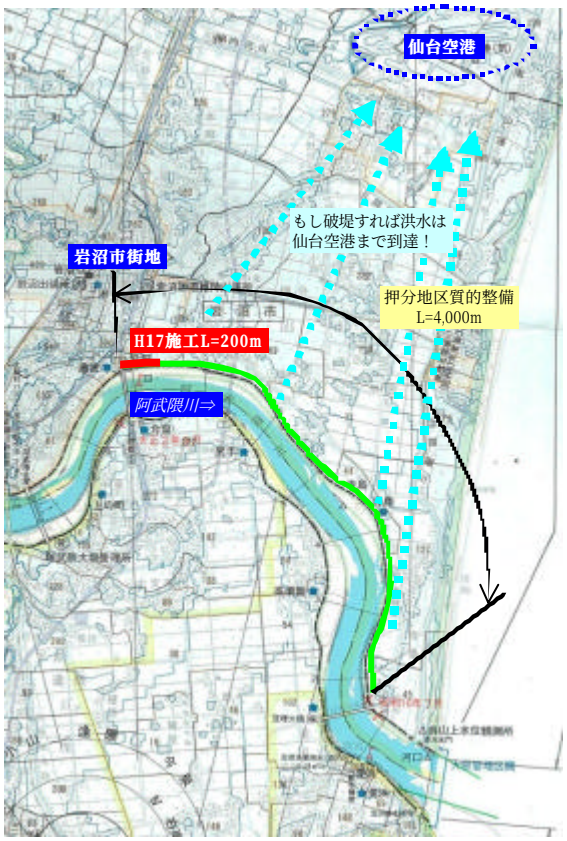


事業の必要性」

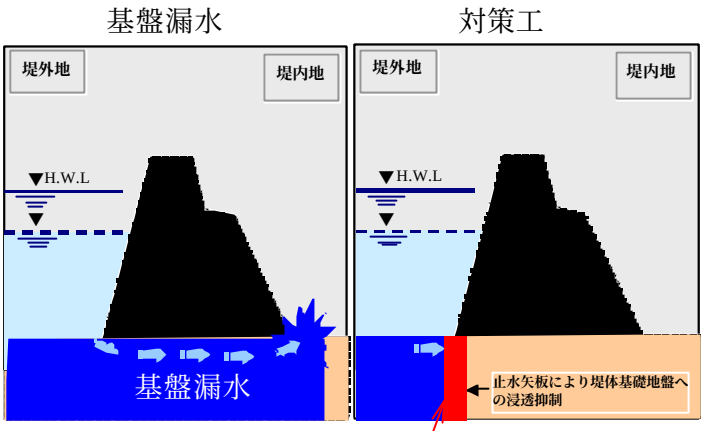
阿武隈川下流部において資産が集中している角田市、岩沼市では、概ね堤防が完成しています。しかし、昭和61年８月、平成10年8月、平成14年７月などの近年の洪水では、堤防の基盤から漏水が頻発して堤防が破堤する恐れもあることから、漏水対策として堤防の質的強化が必要です。

事業の概要」

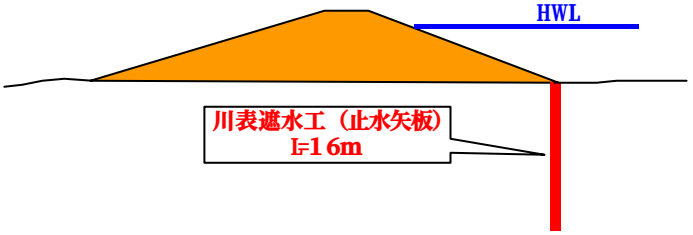
堤防基礎地盤への浸透水の抑制及び低減を図り、安全性を確保するため、岩沼市押分地区において川表遮水工約4,000mを実施するもので、平成17年度に新規着手し、２００m実施します。



標準横断図



堤防の質的強化（川表遮水工）



■堤防の質的整備について

東北地方整備局では、堤防の安全性に関する調査（詳細点検）を実施しており、平成16年3月末現在で約245km（点検対象延長の約2割）の調査を完了、このうち約147kmについて対策が必要と判断されました。こうした要対策区間について、順次、質的整備を進めているところです。

なお、詳細点検につきましては、3月に策定した「堤防点検五箇年計画」に基づき、平成21年度までに直轄の全河川において完了させる予定です。

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：238百万円
○被災実績のある箇所L=200mの基盤漏水対策を実施します。

事　業　効　果

○当地区が破堤した場合、その影響は仙台空港にまで及ぶことが想定されます。
○全体約4,000mを施工することにより、岩沼市街地と仙台空港を外水から守る阿武隈川下流押分地区築堤の質的向上が図られます。